

第 183 回幹事会議事要旨

日 時 平成 25 年 11 月 22 日（金） 13：30～15：40

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 （会長） 大西 隆

（副会長） 小林 良彰、家 泰弘

（第一部） 佐藤 学、大沢 真理、後藤 弘子

（第二部） 生源寺 眞一、須田 年生、長野 哲雄

（第三部） 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭

（事務局長） 田口 和也

（事務局次長） 飯島 信也

（課長等） 渡邊 清、長谷川 和好、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（1 分科会）を決定した。
 - (2) フューチャー・アースの推進に関する委員会運営要綱の一部改正（新規設置 1 件）を決定した。
 - 新規設置
 - ・持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
 - (3) 分野別委員会運営要綱の一部改正（所属委員会の追加 1 件、新規設置 1 件、設置期限の延長 1 件）及び分科会等委員（1 小委員会）を決定した。
 - 所属委員会の追加
 - ・基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 総合微生物科学分科会
 - 新規設置
 - ・環境学委員会 都市と自然と環境分科会 地域環境情報の整備・統合・活用に関する小委員会
 - 設置期限の延長
 - ・土木工学・建築学委員会 土木工学・建築学分野の参照基準検討分科会
 - (4) 提言「科学者から社会への情報発信のあり方について」について、総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会の萩原委員長及び今田委員より説明があり、審議の結果、提言（案）の扱いについて、会長において計算科学シミュレーションと工学設計分科会と相談の上、検討することとなった。
 - (5) 提言「臨床研究にかかる利益相反（COI）マネジメントの意義と透明性確保について」について、臨床医学委員会臨床研究分科会の宮坂委員長より説明が

あり、審議の結果、所要の修文の上、提言（案）の扱いについては、会長において検討し、決定することとなった。

(6) 日本学術会議協力学術研究団体規程の一部を改正することを決定した。

(7) 平成 25 年度代表派遣について、実施計画の一部を変更することを決定した。

(8) 平成 25 年度代表派遣について、実施計画に基づく 1-3 月期及び平成 26 年 4 月の会議派遣者を決定した。

(9) 8 件のシンポジウム等の開催を決定した。

4 その他事項として、今後の幹事会開催日程について確認が行われた。

5 以下の非公開審議が行われた。

(1) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。

(2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）の任期の延長及び分科会委員（特任連携会員）を決定した。

特段の事情を考慮し、基礎医学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同医学分野の参照基準検討分科会に、複数名の特任連携会員を決定した。（医学教育の開発・実践等で高い評価を得ている若手人材が不可欠であるため。）

(3) 平成 25 年度代表派遣 1-3 月期の会議派遣者に関連し、国際業務に参画するための特任連携会員を任命することを決定した。